



平成 24 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 東 京 製 綱 株 式 会 社
代表者名 取締役社長 蔵 重 新 次
(コード番号 5981 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役総務部長 佐藤和規
(TEL. 03-6366-7777)

事業構造改革に関するお知らせ

1. 当社の経営環境

当社は、平成 24 年 5 月 11 日に新中期経営計画「トータル・ケーブル・テクノロジーⅡ（TCT-Ⅱ）」を公表いたしました。当計画は、①生産構造の抜本的改革による収益力回復と、②トータル・ケーブル・テクノロジー企業への基礎固めを基本方針とし、その中でスチールコード事業の構造改革を主要施策の一つに掲げております。

スチールコード事業の構造改革のうち、北上工場の固定費削減につきましては計画通りの結果を実現いたしました。太陽光関連の事業環境が想定以下で推移し、また自動車用タイヤコードにおいても世界レベルで市況が低迷している影響で収益確保が困難になり、平成 25 年 3 月期の業績は本日別途開示の通り、期首の予想値から大幅に悪化する見通しとなっております。

そのため、当社ではスチールコード事業の更なる抜本的改革をはじめとする事業構造改革に着手し、平成 26 年 3 月期の連結経常利益黒字化を目指します。

2. 事業構造改革施策の概要

(1) スチールコード事業

現在、タイヤコード、ソーワイヤを主力製品とするスチールコード製品は日本（岩手県北上市）、中国（江蘇省常州市）、マレーシア（ジョホール州）の 3 拠点で操業しておりますが、世界的な太陽電池の市況悪化、特に中国マーケットにおける供給過剰、日本国内での需要漸減等により、収益性が急速に悪化いたしました。

これに対応し、北上工場の生産体制縮小（設備の一部減損処理、従業員希望退職の募集）を実施いたしました。現状の事業環境が長期化する見通しの中、一定の収益を確保するために、更なる拠点の統廃合、外部資本の導入及びアライアンス締結、画期的新商品の開発・投入を柱とする事業構造の抜本的見直しに着手しております。

北上及び常州を生産拠点とするワイヤソー事業につきましても同様であります。

(2) その他の事業

1) 鋼索鋼線関連事業

当事業においては、紐付き営業の強化、代理店を含む営業効率の向上と営業コスト削減、次世代向け新商品の投入により、市場における圧倒的地位の獲得を実現します。

また、ベトナム工場においてはエレベーターロープを生産しておりますが、中国・東南アジアにおける旺盛な需要に支えられフル生産の状況が続いており、生産能力増強を実行中です。

2) 開発製品関連事業

東北における震災復興が本格化しつつある中、当事業においては専任チームを設け、復興関連案件の設計支援を強力に推し進めております。合わせて需要の確実な捕捉に努めます。

また、落石防護製品、道路安全施設に関しても、当社独自の新製品群を投入し、足元で具体的な受注増につながっております。

C I S 諸国においては、ロシアやカザフスタンの鉄道機関・防災機関への設計織込みが進捗し、来期にかけ相当量の獲注が見込まれます。

(3) 費用削減

1) 外部調達コストの削減・生産性向上

原材料・諸資材の輸入調達の拡大をはじめとする外部調達コストの削減に関しては計画の 50% 程度の進捗となっておりますが、来期に向けて更なる削減に取り組んでまいります。また、各生産拠点におきましては、生産プロセス改善に加え、省力化や歩留まり改善、輸送コストミニマムの生産体制構築等の施策を推進しております。

2) 固定費削減

事業所の統廃合、組織のスリム化等による人件費削減をはじめ、固定費の抜本的な削減を実施中です。

3. 業績への影響について

スチールコード事業をはじめとする構造改革の当期連結業績への影響につきましては、明確になり次第公表いたします。

以 上